



第16回

踊りの祭典 踊こまつり

2014. 5/3~5/4

踊りを通じて幅広い年代層が交流する「踊こまつり」が、今年も開催されました。県外からも多くのチームが出場し、パフォーマンスを披露して踊る側と観客が一体となって楽しめるまつりとなっていました。

当日ボランティアとして参加するようになって、4回目の今年は、7名のメンバーが参加しました。前年度と同じバス係担当だったので気持ちの上では余裕がありましたが、今回は注意を守っていただけない観客の一部の方に気を遣いました。

審査員の依頼もあり前年度同様、十倉事務局長が引き受けてくださいました。このイベントは「踊こ部門」と「自由部門」の2部門で構成されていて、テーマやストーリー性が重視される前者とジャンルや形式にこだわることなく自由に思う存分、踊りを楽しむことに加点される後者。どちらも踊人は素晴らしいと思いました。チームの一生懸命が伝わってきます。

2日目は、てるひめちゃんの着替えを手伝わせていただきました。舞台上で司会のスパイシー八木さんがクイズを出題して、てるひめちゃんが○×で答えるという設定で観客も一緒に盛りあがりしました。

今年は、毎年5月の最終日曜日に行われていた「感謝の集い」が市民会館改修工事の為、行われないので少し寂しい気がしていましたが、市民会館のオープン記念に計画があると聞いて安心しました。やはり「感謝の集い」を楽しみにしておられる人もたくさんいらっしゃるのです。

振興会のみなさんは、よりよいまつりになっていこう、第17回にむけて既に歩まれています。「かこがわ人の会」としても加古川を全国区にするための支援と会の目標に近づくために協力が出来たら良いと思っています。

(籠谷 ツルエ)



テント内で作業



昼休憩中



舞台裏 (テントの中)